

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-27 公衆浴場助成事業				タイムスコード及び個別事業名			
	■支援部門					382	公衆浴場助成事業	
主管課	産業振興課		関連課					
分野名	産業振興							
目標 (目標値)	公衆浴場の過疎地域の発生を防止し、住民の健康増進を図る。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	1,830千円	1,136千円					
	(国・県)	90千円	90千円	指標と評価				
	(負担金等)			指標	公衆浴場の1日平均 利用者数			
	(一般財源)	1,740千円	1,046千円	評価	×			
	人員配置数	0.1人	0.1人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				
	人件費	919千円	962千円		目標値	実績値		
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	2,749千円	2,098千円	20年度	120人	74人		
	市民1人当 りの経費	16円	12円	21年度	120人	75人		
	対象者1人 当りの経費			22年度	201人			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横須賀市	茅ヶ崎市	逗子市	23年度	201人		
	施設整備補助金	807千円	566千円	478千円	最終年度 (年度)			
	確保対策補助金	1,300千円	360千円	なし				
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・公衆浴場の施設整備補助金については、各浴場に要望調査を行ったうえで予算措置を行っている が、各浴場とも老朽化していることから、計画的に施設整備を行う必要がある。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・平成23年度から平成27年度までの施設整備計画を立てるよう指導し、予定表を提出させた。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・後継者問題や資金調達の面で、長期的見通しの立たない公衆浴場が多い。 ・入浴料が物価統制令の規定に基づいて定められているため、料金設定に自由度がなく、自立・安定 的経営の支障となっている。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・今後も、公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律の規定に基づき、確保を図るために所要 の助成を行い、市としての責務を果たしていく。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	公衆衛生の向上や市民の健康増進、 高齢者の介護予防などの観点から、 現存の公衆浴場が永く営業継続され るよう支援する。		評価結果	改善の必要性	公衆衛生の向上や市民の健康増 進、高齢者の介護予防などの観点 から、現存の公衆浴場が永く営業継 続されるよう支援する。		
B	無			B	無			
課長名		川村 裕伸		部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦		